

- 2004 年環境電磁工学国際シンポジウム小特集号(英文論文誌 B)論文募集 -

2004 年環境電磁工学国際シンポジウム小特集編集委員会

通信ソサイエティでは、2005年8月発行の英文論文誌 B 分冊に掲載の予定で、「2004 年環境電磁工学国際シンポジウム」小特集号 "Special Section on 2004 International Symposium on Electromagnetic Compatibility" を企画しています。

高度情報化社会の進展に伴って、デジタル技術を利用した電気・電子機器や情報通信機器が産業用から家庭用に至るまで幅広く用いられるようになってきました。また、携帯電話や無線 LAN をはじめとする無線通信システムが急速に普及し、ユビキタスネットワークの実現に向けて様々な技術開発が進められています。このような中で、これらの機器・システム・ネットワーク間の EMC (電磁両立性) 技術は欠くことのできないものとなっていくと考えられ、現在、世界中で多くの技術者がこの問題に取り組んでいます。2004年6月には仙台で電子情報通信学会主催の2004年環境電磁工学国際シンポジウム(EMC'04/Sendai)が開催され、電磁両立性にかかわる多くの問題が議論されました。

本小特集号では、これを機会に、最新の EMC に関する計測技術、試験技術、評価技術、シミュレーション技術、設計技術、対策技術に関する研究成果を募集し、新たな研究テーマの発掘を図るとともに、今後重要性が増す EMC 技術の発展の一助とすることを目的とします。本編集委員会では広く国内外の研究者より論文を募集すると同時に、EMC'04/Sendai で発表された論文の投稿を強く期待します。

1. 対象分野

下記に示す分野を主な対象としますが、限定は致しません。

- ・ EMC 計測技術
- ・ EMC 評価技術
- ・ EMC 設計技術
- ・ EMC 試験技術
- ・ EMC シミュレーション技術
- ・ EMC 対策技術

2. 論文投稿と取り扱い

編集に当たっては、英文論文誌の規程を適用することとします。論文は電子情報通信学会の英文論文誌投稿のしおり最新版に従って執筆をして下さい。英文論文誌投稿のしおり最新版は電子情報通信学会の Web 「<http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji.html>」より入手できます。論文の刷り上がりは6ページを基準とします。

本小特集号では電子投稿を実施します。各著者は下記の手順に従って投稿して下さい。

手順1: http://review.ieice.org/regist_e.wbt より仮登録と論文の投稿を行って下さい。投稿可能なファイル形式は PDF です。他のいかなるファイル形式も電子メールによる投稿も受け付けません。著者は投稿に当たり登録画面において「Type of Issue/Category of Transactions」より「[Special-EB] 2004 International Symposium on Electromagnetic Compatibility」を選んで下さい。「[Regular-EB] Communications」を選ばないで下さい。

手順2: 2組の論文のコピーを、仮登録終了時にオンライン画面上に自動的に作成される「Copyright Transfer and Page Charge Agreement」と「Confirmation Sheet of Manuscript Registration」とともに原稿送付先まで郵送でお送り下さい。封筒の上には「Special Section on International Symposium on 2004 Electromagnetic Compatibility」と記載して下さい。

3. 投稿期限: 2004年11月15日

4. 原稿送付先及び問合せ先

〒804-8550 北九州市戸畑区仙水町 1-1 九州工業大学工学部電気工学科 桑原 伸夫

Tel. 093-884-3267 Fax. 093-884-3203 Email: kuwabara.nobuo@buddy.elcs.kyutech.ac.jp

5. 小特集号編集委員会

編集委員長 藤原 修(名工大)

編集幹事 桑原 伸夫(九工大)

編集委員 井上 浩(秋田大), 上 芳夫(電通大), 橋本 修(青学大), 井手口 健(九州東海大), 和田 修己(岡山大)

6. 付記 上記テーマに関する招待論文も予定しています。